

第7回「西高フォーラム」

— 初夏の講演とコーラス —

ご案内

共催 財団法人 西高会
都立西高同窓会
後援 杉並区教育委員会

この度の大震災で被災された方々に、謹んでお見舞い申し上げます、被災地域の一刻も早い復興をお祈りいたします。

本年も、財団法人西高会と都立西高同窓会では、杉並区教育委員会の後援を得て、「西高フォーラム」を下記の通り開催いたします。

土曜の午後のひととき、お楽しみ頂きますようご案内申し上げます。
(このご案内は、近隣・杉並区・一般の皆様および西高関係者に行っております。)

記

- 日 時 2011年6月18日(土) 13時30分～15時30分
- 会 場 都立西高視聴覚ホール (西高正門を入れて左側の建物)
(入場無料) (車でのご来場はご遠慮願います。)
- 講 演 『宇宙開発の今』
川田 恭裕 (西24期)
(独) 宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター所長
- コーラス 『宇宙に思いを馳せて』 ～大空に響けこの歌声～
西高混声合唱団 (*)
指 揮 : 黒田 彰 (西27期)
ピアノ伴奏 : 平山 美帆子 (西27期)

問合せ先 西高同窓会事務局
TEL 03(3247)0765

(*)「西高混声合唱団」は同窓会が主体となり2000年に生まれた合唱団です。現在は卒業生に限らず、元PTAを含む幅広い西高関係者の参加により、一層発展させようと活躍中です。

第1部 講演『宇宙開発の今』

13:30 ~ 15:00

ヴォストーク宇宙船に乗ったソ連(当時)のガガーリン少佐が、人類として初めて地球周回軌道を1周し、無事地球に帰還したのは、今から50年前のことでした。現代に繋がる航空機の歴史の始点を1903年のライト兄弟による世界初の有人動力飛行と位置付けると、このガガーリン少佐の宇宙への旅は、宇宙機或いは宇宙開発の歴史の始まりといえるかもしれません。

航空機は、現在までの100年の間に、技術面や安全面で格段の進歩を遂げ、輸送システムとして社会の中でその利用が定着しています。50年目を迎えた宇宙機の歴史は、輸送システムとしては、航空機には及びませんが、気象衛星ひまわりや放送衛星BS等の人工衛星の利用は社会に定着したシステムの一つといえるでしょう。

また、昨年、多くの声援をいただいた宇宙探査機はやぶさの帰還や昨今の日本人宇宙飛行士の活躍は、未知への探求を目指す宇宙開発のもう一つの代表的な姿といえます。

50年目を迎えた宇宙機或いは宇宙開発の今、それも現在では宇宙先進国の仲間入りを果たしている日本の宇宙開発の今、を中心にお伝えすることで、宇宙開発が秘めている将来への可能性を皆様感じていただければ幸いです。

講師のプロフィール

1953年東京生まれ、
東京都立西高等学校卒業、
東京大学大学院工学系研究科修了
1978年に当時の宇宙開発事業団に入社、
H-1 ロケット誘導制御系開発、
きく6号姿勢制御系開発
小型衛星システムの研究開発、
の研究開発部門等を経て現在に至る

第2部 コーラス『宇宙に思いを馳せて』

15:10 ~ 15:30

～大空に響けこの歌声～

1. 見上げてごらん夜の星を
2. 瑠璃色の地球
3. アヴェ・ヴェルム・コルプス 他